



# 科学の眼

まなこ

発行:姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話:079-267-3961)  
http://www.city.himeji.lg.jp/atom/

## 生物シリーズ

勝利と栄光のシンボル

# ゲッケイジュ (クスノキ科)

*Laurus nobilis*

姫路科学館長 古角 孝之

本種は、地中海原産の常緑高木で、高いものでは約12mにもなります。ローリエ (フランス語:Laurier)・ローレル (英語・スペイン語:Laurel)・ベイリーフ (英語:Bay leaf)ともよばれ、「幸福を呼ぶ枝」として欧米では中世の頃からクリスマスの妖精を迎えるための教会の飾りとしても使われています。日本には、庭園・公園樹として明治39年(1906年)にフランスから持ち込まれました。

葉(葉身7~10cm)は長楕円形で、互生しています。雌雄異株で、4・5月に黄白色の小さな花(花径約5mm)を葉腋に咲かせます。ただ、日本には雌株はあまりありません。果実(長さ約1cm)はアメリカンフットボールのような形をしていて、10月頃に暗紫色に熟します。(図1)

オリンピックの勝者に贈る月桂冠は、この種の葉のついた若枝を編んだものです。古代ギリシャでは、勝利と栄光のシンボルとして勝者や大詩人の頭に被せたそうです。姫路科学館の「新春の植物展」のめでたい植物コーナーにも展示しました。

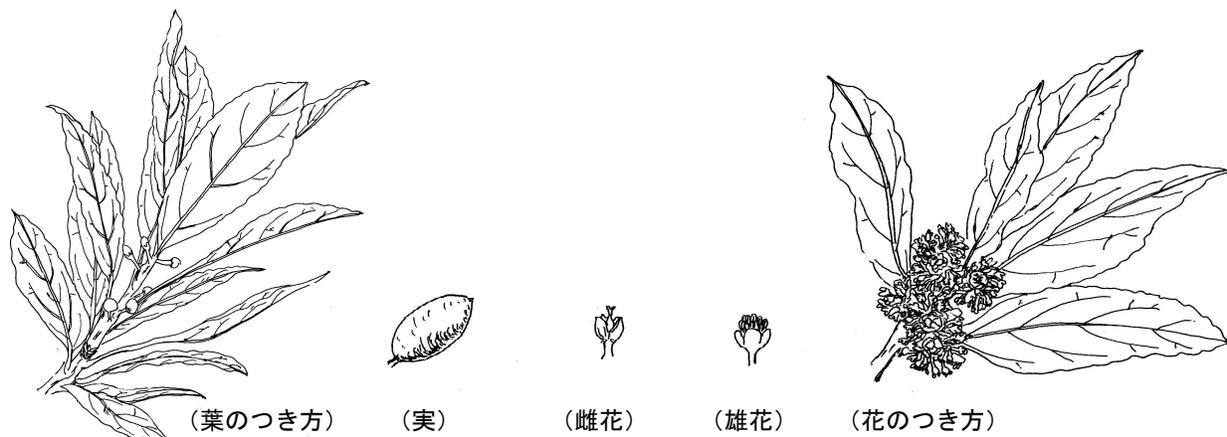


図1 ゲッケイジュの様子

## ■ゲッケイジュ アラカルト

### 【用途】

ゲッケイジュの葉や実には、シネオール（快い芳香と味を持つ天然に存在する有機化合物  $C_{10}H_{18}O$ ）が含まれており、また、この物質には殺菌・防腐・麻酔・発汗・唾液の分泌促進など様々な効用があり、次のような用途があります。

#### ○料理（主に香辛料）

- ・シチュー、ポトフ、カレーなどの煮込み料理に使う。（葉）
  - ・魚料理、マリネやピクルスのつけ汁に使う。（葉）
  - ・パウダーにして、肉などを焼くときにすりこんで肉の臭みを取る。（葉）
- ※料理に使う葉は「ローリエ」という名で市販されています。

#### ○薬

- ・ポプリなどに入れて衣類の防虫剤に利用。（葉）
  - ・ねんごの痛み、関節痛などに効く入浴剤に利用。（葉）
  - ・健胃薬として生薬（月桂葉・月桂実）に利用。（葉・実）
  - ・リウマチ、疥癬などの塗布薬に利用。（葉・実から取り出した精油一月桂油）
- ※葉は、乾燥させると苦味が少なくなり香りも引き立ちますので、乾燥させて使用するのがポイントです。

### 【ゲッケイジュにまつわる神話】

ギリシャ神話には、「太陽の神アポロンは河の神ペネイオスの娘ダフネに恋をしますが、ダフネはアポロンを好きになれず、いつもうまく逃げ回っていました。しかし、ついにダフネはアポロンにつかまりそうになり父ペネイオスに助けを求め、ダフネをゲッケイジュに変身させてアポロンから救いました。アポロンはそれにショックを受け、ゲッケイジュに変身したダフネに、勝利や栄光を手にした者にはゲッケイジュの冠を授けることを誓いました。」と記されています。

### 【月桂冠をデザインした硬貨・金貨】



図2 十円硬貨（外径 23.5mm）



図3 ソブリン金貨（外形 22mm）：英国

### 【姫路城三の丸広場のゲッケイジュ】

姫路城三の丸広場から姫山公園に続く坂道左側にかなり太いゲッケイジュが3本あります（図4）。道際にありますので、樹木全体の様子はもちろんのこと、葉・花をしっかりと観察することができます。

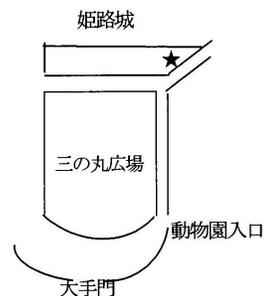


図4 略地図

★：ゲッケイジュの位置